

その他のロケ地は  
\\ こんなところ! //



16 平庭山荘 (山形町)  
(設定:東北の宿)

客室やロビーで撮影が行われた。出演者やスタッフに特製の短角牛弁当が振舞われ大好評。



17 久喜漁港 (宇部町)  
(設定:被災地)

実際に東日本大震災で被災した地区で、完成した防潮堤の上などで撮影された。急遽地元住民に長靴などの小道具を借りることも。



野田村  
野田村中心部や「ほたてんぼうだい」で震災ツアーの様子を撮影



宮古市田老町  
震災遺構「たろう観光ホテル」や三王岩、防潮堤などで撮影



宮城県 (気仙沼市・石巻市ほか)  
被災地の復興の状況や追悼式の様子が取り上げられている。

衣装・美術協力

ミドリ安全/エムシーアパレル  
ミドリ久慈衣料

映画の中の「映画」の登場人物たちが着用している作業着・防寒着を提供



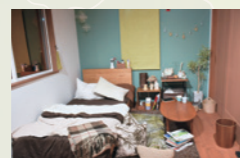
久慈琥珀

ヒロイン・Awichさんが着用している琥珀のイヤリングを提供



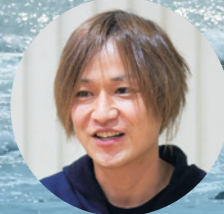
Zakka shop マタタビ

真紀の部屋に装飾されているインテリアを提供



STAFF & CAST COMMENT

監督 / 曾根剛



映画撮影時はあまりにも慌ただしい日々を駆け抜けました。が、メイキング映像を見ると、その慌たしさを感じにくく協力してくれた皆さんも私たちが皆が撮影を楽しんでいる。とても温かい現場だったんだと嬉しい気持ちになりました。撮影後に頂いたまめぶ汁が特に美味しく印象に残っています。

脚本 / 上田慎一郎



この映画は被災地の方々と一緒に作りたい。制作開始時からの思いでした。ロケハンや取材時に久慈の皆様が語ってくれた言葉がどんどん脚本に加わっていきました。撮影現場で、一緒に映画作りを楽しんでくれている姿を見て感動しました。この映画を久慈の皆様と一緒に作れたことに感謝します。

主演 / マイケル・キダ



撮影初日は雨で寒かったのですが、久慈市の方々のおもてなしで心がとても温まりました。皆さんの楽しそうな笑顔、美味しいご飯、愛のある差し入れ…。ロケ地マップを眺めるだけで当りがよみがえります。僕は久慈が大好きで大切な街になりました。

北三陸・久慈ロケーションサービス

久慈市では、地域のファンを増やし、観光資源の磨き上げやおもてなし向上を行うこと、また新たなロケを受け入れ、継続的に地域の魅力を発信する取り組みとして「ロケツーリズム事業」を推進しています。その一環で映画やテレビ等の映像制作者向けに「ロケーションサービス事業」を実施し、撮影場所となる施設や地域との調整、ロケハンや撮影立ち合い、撮影に必要な情報提供など、映像制作者が撮影しやすい環境の提供と地域住民が楽しみながら参加できるボランティア登録制度を行っています。この事業は、久慈市のほか、洋野町・野田村・普代村・田野畑村など32団体が参画する北三陸「あまちゃん」観光推進協議会と連携し取り組んでいます。

【久慈市内協力企業】一般社団法人 久慈市観光物産協会/特定非営利活動法人 久慈広域観光協議会/特定非営利活動法人 やませデザイン会議(動労青少年ホーム)/有限会社 あくあぶらつ(久慈地下水族科学館もぐらびあ)/社会福祉法人 久慈市社会福祉協議会(福祉の村)/平庭観光開発 株式会社(平庭山荘)/株式会社 久慈グランドホテル/有限会社 はたけた(ロイヤルパークかわさき)/ゆう建築設計 株式会社(モデルハウス)/株式会社 青松/株式会社 HMS(きよ田/Dining Bar WEEKND)/nanamaruni coffee/株式会社らいおん(ローソン久慈長内店)/鬼は内/Zoo-Zoo CAFÉ/有限会社越戸きのこ園(時の湯きのこ屋)/久慈市教育委員会(アンバーホール)/北三陸「あまちゃん」観光推進協議会  
【久慈市以外の協力団体等】宮古市/一般社団法人 宮古観光文化交流協会/株式会社 たろう観光ホテル/野田村/岩岸町  
【特別協力】久慈市 【衣装・美術協力】ミドリ安全株式会社/エムシーアパレル 株式会社/ミドリ久慈衣料 株式会社/久慈琥珀株式会社/Zakka shopマタタビ  
【メイキング動画撮影協力】川嶋印刷株式会社 盛岡支社

岩手県・久慈市

映画

永遠の1分。

1446: An Eternal Minute

ロケ地MAP



映画の舞台を歩いてみよう。



# 永遠の1分。

1446: An Eternal Minute

## ロケ地MAP

マップを片手に、ロケ地を回ってみよう!

令和2年10月に、久慈市を中心に岩手県内の約20か所、延べ400名のエキストラが参加して映画『永遠の1分。』の撮影が行なわれました。

久慈市公式ホームページ 映画『永遠の1分。』特設ページ▶



**03 福祉の村**  
(設定:都内公園)

被災地の劇団の稽古シーンを撮影。夏シーンだったため、出演者・エキストラは肌寒い気温との闘いながら撮影。



**15 青松作業場** (設定:被災地避難所)  
※一般の方の立入不可

映画の中の「映画」シーンを撮影。休日にもかかわらず、出演者の控室として事務所などを開放し撮影に協力。



**01 鬼は内** (設定:飲食店)  
※現在はセルフ店のみ営業。

脚本の取材で訪れた上田監督が、思わず映画にも採用してしまうほど、インパクト大の「おにぎり」に出演者もビックリ!



**02 nanamaruni coffee**  
(設定:カフェ)

勢田気のないカフェとして登場。早朝にもかかわらず、店主や従業員もエキストラとして参加。



**04 アンバーホール**  
(設定:区民ホール)

本映画最大約150人のエキストラを集め、エントランスやホールで撮影。最後は出演の渡辺裕之さんの「ファイト——発!」で締めた。ロケ弁は女性スタッフに大好評の「カフェ飯」。



**05 勤労青少年ホーム**  
(設定:被災地避難所)

被災地の体育館に見立てて撮影。撮影後には、まめぶ汁や短角牛丼、豆腐田楽などの郷土料理が出演者やスタッフに振舞われた。



**06 久慈市役所**  
(設定:出版社、被災地の市役所観光課、オーディション会場)

執務室を丸ごとセットに使用。職員総出で美術装飾をサポート。差し入れの特産品「山のきぶどう」は映画の中にも登場!



**07 久慈グランドホテル**  
(設定:都内ホテル)

客室やラウンジで撮影。出演者の衣裳部屋も提供。特別に用意されたクランクイン祝いの幕の内弁当は美味!!



**08 鮎処 きよ田**  
(設定:東北の飲食店)

エキストラはお店の常連さんが参加。撮影後は、出演者・スタッフにお寿司が振舞われ大好評!



**09 Dining Bar WEEKND**  
(設定:都内飲食店)

店の常連さんがエキストラとして登場し、にぎやかな撮影に。撮影用に用意した食事に撮影隊もエキストラも大満足。



**10 ゆう建築設計モデルハウス**  
(設定:アメリカの家、真紀の部屋)

ロケハンで、監督が一目ぼれしモデルハウスを貸し切って撮影。真紀の部屋は、インテリアなどを持ち込んで装飾。差し入れの「かぼちゃまんじゅう」は監督も大絶賛。



**11 ロイヤルパークかわさき**  
(設定:都内ホテル)

従業員もエキストラに参加。ロケ弁の中華弁当は2択で選ぶのに迷う美味しさ。



**13 ケルン・鎮魂の鐘と光**  
(設定:被災地)

被災地を象徴する祈りの場として登場。朝日を浴びる久慈港のすぐそばで撮影。



**12 久慈港シーサイドパーク**  
(設定:都内公園)

小雨のなか、映画クランクイン。撮影中に流れた「あまちゃん」メロディーの時報に出演者・スタッフも思わず笑顔に。



**14 もぐらんびあ**  
(設定:演劇舞台)

トンネル水槽の前で撮影が行われ、映画の象徴的なシーンに。実際に演劇を行う「久慈市民おらほーる劇団」がシナリオ提供や衣装提供などにも協力。

**16 久慈港シーサイドパーク**

**18 ケルン・鎮魂の鐘と光**

**15 青松作業場**

**11 鬼は内(セルフ店)**

**04 久慈市文化会館(アンバーホール)**

**09 勤労青少年ホーム**

**07 久慈グランドホテル**

**08 鮎処きよ田/09 Dining Bar WEEKND**

**11 ロイヤルパークかわさき**

**10 ゆう建築設計モデルハウス**

**05 勤労青少年ホーム**

**02 nanamaruni coffee**

**道の駅くじやませ土風館**

**三船十段記念館**

**03 福祉の村**

**久慈IC**

**JR八戸線**

**久慈川**

**川越橋**

**長内川**

**久慈港**

**CH田**

**八戸**

